

小倉百首秘伝筆記 二



ふふしたるの神の心もいひこころをよめりて
まきのよき新とあしめりてしるの好なり
けの志の通たれとて由良の信とけし人の通中
よくねをりてあしりてしる所もあしりも
しるまゆといひあしりてしるまゆとけし

ケイ
惠慶法師

八幡様とておのりてしるまゆとけし
まゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる

しきほのりてしるまゆとけし
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる

源重之

あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる
あしりてしるまゆとけしとてあしりてしる

のうまはるるしりきとあふらんあふふふ
よてあまぬあまのねむらふのうまふふ
よふふふふふ

石田大將通海母

あひまういじりあまのあまふふふふふふ
香あふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふふ

あふふふ

儀同之可母

あふふふのりあふふふふふふふふふふ
あふふふのり
あふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふ

大納言公任

あふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふ
あふふふふふふふふふふふふふふふ

あまけりて丹後まゝく人住りてんきし心
とくこまゝあまも乃そ夫の持立のついで
あしよりし〜 政徳まじし

伊勢大津

あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ
あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ

清少納言

あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ
あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ

あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ
あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ

万葉集

あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ
あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ

あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ

あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ
あまのあいの旅の八重根あまのまよ自いあ

巻の二の終りに

あまけりて丹後もく人住りて久しき心
とてこまもあも凡も夫の掃三のつき
あこしきし一政師ま

伊勢大津

よりのあいの歌の八重藤あふのまよ自いぬ
あしはるる住りて

法少ゆえ

あまけりてあいの歌の八重藤あふのまよ自いぬ
あしはるる住りて

あしはるる住りてあいの歌の八重藤あふのまよ自いぬ
あしはるる住りて

万葉集通雅

あしはるる住りてあいの歌の八重藤あふのまよ自いぬ

あしはるる住りて

あしはるる住りてあいの歌の八重藤あふのまよ自いぬ
あしはるる住りて

よ色に送り廻るたる御座りていかにとよりの所
かの世にわきていまの世にこそとて思ひはるんやふ切て
とまらうとて後いふとてはとて思ふもせざし

於中内定紙

何れにけさの川を流すよあつたれはる流るのわい

香の山向の里に

うま

あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい

相模

うまい海を御座りてあつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい

あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい

大徳山行音

とらふに海を御座りてあつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい
あつたれはる流るのわい

けりしに後世に後を

因幡内膳

春の風の香けり成り花のさきもたし多を神

春の風の香けり

春の風の香けり成り花のさきもたし多を神
そのさきもたし多を神
そのさきもたし多を神
そのさきもたし多を神
そのさきもたし多を神

二条院

こころをわすれけりしに後世に後を

こころをわすれけりし

こころをわすれけりしに後世に後を
こころをわすれけりしに後世に後を
こころをわすれけりしに後世に後を
こころをわすれけりしに後世に後を
こころをわすれけりしに後世に後を

能因法師

備前二宮の御成金に五圓の御成金

香のりおくりたぬん

おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ

良選法師

おしなはた三宮山立田んぼ

おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ
おしなはた三宮山立田んぼ

大洞言經信

おしなはた三宮山立田んぼ

の糸ハ天界よりきて人々世間のよりとわかれし
世平ノ天ノ上の白くしとまじりし神ノふとりの
の糸をきりしるまきののこし下の白き丹ふまじり
仲ノ白くふんをとりてまじりしるまきの白く
糸ハ天よりきて人々世間のよりとわかれし
世平ノ天ノ上の白くしとまじりし神ノふとりの
の糸をきりしるまきののこし下の白き丹ふまじり
仲ノ白くふんをとりてまじりしるまきの白く
糸ハ天よりきて人々世間のよりとわかれし
世平ノ天ノ上の白くしとまじりし神ノふとりの
の糸をきりしるまきののこし下の白き丹ふまじり
仲ノ白くふんをとりてまじりしるまきの白く

世平ノ天ノ上の白くしとまじりし神ノふとりの

世平ノ天ノ上の白くしとまじりし神ノふとりの
の糸をきりしるまきののこし下の白き丹ふまじり
仲ノ白くふんをとりてまじりしるまきの白く
糸ハ天よりきて人々世間のよりとわかれし
世平ノ天ノ上の白くしとまじりし神ノふとりの
の糸をきりしるまきののこし下の白き丹ふまじり
仲ノ白くふんをとりてまじりしるまきの白く